

国際ガールズメッセ 100 周年記念式典
およびコミュニティアクション チャレンジ 100 アワード表彰式

令和3年10月10日（日）

このたび、日本のガールスカウト運動の「100周年記念式典およびコミュニティアクション チャレンジ 100 アワード表彰式」が開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

ガールスカウトは、イギリスの少女たちがスカウト運動を行いたいと声をあげたことをきっかけに始まりました。その後1920年に、日本の学校にこの運動が紹介され、日本でもガールスカウトが始まりました。

それから100年間、日本のガールスカウトは、一人一人が強い使命感と責任感を持ち、自分たちでしっかりと考えて行動するという伝統のもと、年代に応じたプログラムを行ってこられました。皆様が、自分たちが社会を変えるという信念を持ち、リーダーシップを発揮しながら、より幸せな未来の実現を目指しておられることを、そして、多くの方々によって、ガールスカウトの志が受け継がれてきたことを、とても心強く感じております。ガールスカウトの皆様、関係の皆様のご長年にわたるご尽力に、深く敬意を表します。

昨日から開催されている日本のガールスカウト運動100周年事業「国際ガールズメッセ」では、「わたしの声から広がる世界」をテーマとし、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）の達成、その中でも特に目標の5番目にある「ジェンダー平等を実現しよう」の達成に向け、様々なプログラムが行われています。私も皆様とともに、ジェンダー平等に関する世界と日本の実情や課題について、より考えを深めたいと思います。

本日はこの後に、2つのアワードの表彰式が行われます。「コミュニティアクション チャレンジ 100 アワード」では、少女と女性の視点に立ち、社会に良い変化をもたらすプロジェクトが、「B-P アワード」では、ガールスカウトの活動を通して得た知識と技術が生かされた、人に役立つプロジェクトが、表彰されると伺っております。これから賞を受けられる方々に、心からお祝いを申し上げます。皆様のごこうした取り組みや、ガールスカウトの活動から、社会の様々な問題に対して声をあげ、仲間と協力して解決を目指す、強い気持ちが伝わってきます。

今年 3 月に世界経済フォーラムが発表したジェンダーギャップ指数で、日本は 156 カ国中 120 位にとどまりました。この現状はとても残念なことです。日本においても、ジェンダー平等をめぐり、努力を重ねている方々が多くいらっしゃいます。

今後、ジェンダー平等が達成され、誰もがより幅広い人生の選択肢を持てるようになることを、自らの可能性を最大限生かす道を選べるようになることを、そしてそれがあたりまえの社会になることを切に願います。

終わりに、「国際ガールズメッセ」が皆様にとって大切な思い出になるとともに、皆様の活動が素晴らしい未来につながることをお祈りし、式典に寄せる言葉といたします。